



築理会 会報

2022 Spring vol.69

東京理科大学工学部建築学科校友会



「青青」：塩島 健太（建築学科3年 写真部）

新会員（卒業生）の皆様 築理会へようこそ

築理会の活動に参加して、
多くの卒業生と交流を楽しみましょう。

2022年度 築理会総会・講演会・懇親会を 開催します。

2022年5月14日（土）14：30開始予定

講演：倉淵 隆 氏（東京理科大学 副学長）

*コロナウイルスの状況に合わせ開催します。

*詳細はホームページ、メルマガで後日お知らせします。

CONTENTS

平野道勝先生を偲んで	2P
理科大学工学部建築学科の今	4P
同窓生の今を考える「diversity」	6P
インフォメーション	8P
ホームページリニューアル、ホームカミングデー 先輩と語る2021、新年会、表紙写真紹介	

築理会の最新情報を、HP、メルマガ、Facebookで配信しています。
築理会活動へのご意見・ご要望、会員の情報がありましたら
お寄せください。
chikurikai@gmail.com

平野道勝先生を偲んで

2020年夏、平野先生がお亡くなりになられたことが建築雑誌に掲載されました。驚きになられた方も多いのではないかと思います。

皆さまご存じのように、大学の建築学科は1962年に創設されました。創設当初から構造系の研究室として二見平野研究室が設けられ、長きにわたり多くの卒業生を送り出してきました。その研究室も、1999年の学部卒業生を最後に幕を閉じます。研究室のOB会の集まりも開催され、長年先輩から後輩へとバトンタッチが行われてきました。

今回は、研究室で長年助手を務めておられました穂積秀雄様、そしておそらく研究室最後の卒業生のうち、木村麗様に寄稿いただきました。

二見先生・平野先生の面影とOB会

穂積 秀雄 1970年卒 元助手

平野先生逝去の知らせは突然に届きました。研究室の卒業生からのメールでした。その知らせにあった建築学会の機関紙「建築雑誌」の8月号(2020年)を開きましたところ、逝去者報告にお名前がありました。逝去日の記載はありませんでした。理科大に問い合わせましたところ、今のところどこからの報告もないとのことでした。

卒業なされた東京工業大学や先生が深く関わった学協会などの回答も同じでした。わたくしからの訃報を手にした同級生が、学友に知らせを兼ねて、消息をお尋ねして下さったようですが、皆さんここしばらく音信不通とのことでした。

2017年9月に開催された二見・平野研OB会は突然のご欠席でした。後日、幹事さんがなんとかお会いしたところ、当日は病院に行かれていたとのこと。音信不通となったのにはわたくしも、連絡先を求めてつてを頼りましたが叶わぬままのお別れとなりました。

奥様はよく、うちのはせっかちで気が小さいとお話しにいられていましたが、その性格からか先生は何事にも十二分な準備を整えるのが信条でした。その先生が、自らの万一の場合の連絡先などを親族にお伝えしていなかったのは、そういう準備はもう少し先でよいとお考えだったのではないかと、おいおいと準備するつもりが老齢化に追いぬかれたのではと、わたくしは思っています。このようなお別れを悔やむ気持ちが伝わったのでしょうか、ある卒業生からいただいた「先生は静かにお逝きになりたかったのでは」の言葉は、

わたくしを慰めてくれました。

二見先生と平野先生は東京工業大学で子弟関係にありました。二見先生の理科大着任は工学部の開設2年目の1963年で、平野先生の着任は翌年でした。着任当時二見先生は建築学会の会長職にあり、平野先生は学生との歳も近い若々しい助教授でした。東京工業大学時代、二見先生はF研と称する研究室を直弟子の藤本先生と一体運営なされていました。そのことから、理科大でも平野先生との一体運営を望まれました。研究室に入った直後の飲み会や卒業研究の発表練習など全てが一体でした。まさに一つの研究室が重鎮と若々しい気鋭とで構成されていました。そのことが卒業後のOB会をも一体としています。

二見先生は、第1次南極越冬隊の観測建物を考案する委員会の委員長をお勤めになられ、日本初のプレファブ住宅をドイツ輸入の発泡スチロール板で設計しています。工学部に博士課程を新設するときに、教員候補者は業績書を以って文部省の審査を受けました。平野先生から二見先生の書類を整えるように依頼されたわたくしは、その研究業績欄に論文を並べるのではなく、ただ1行、1981年建築学会大賞受賞と書きました。

先生は京都生まれで京都市育ち、祇園祭では鉾の上で、稚児のおすまし顔をしています。遊び友達の一人は湯川秀樹でした。先生は多芸で、馬場馬術の学生選手権で入賞し、将棋は14世名人・木村義雄の対局指導を受けています。

理科大での卒業研究の指導は矩形ラーメンの塑性崩壊、鉛直荷重と水平荷重の組合せに対して耐える最大荷重域を図示化する研究でした。設計業務に進ま



写真提供：大岩 昭之
1968年卒 元築理会会長

た卒業生の皆さんは、その後必要不可欠となる塑性力学をいち早く学びました。

平野先生は、二見先生と同じく大学人の家庭に育ち、学生時代にはワンダーフォーゲル部で、トレッキングを楽しみました。研究室での先生は、学生と一緒にのスキー、学生の経済事情に配慮した宿泊施設でのスキーを好みました。山スキーの経験を彷彿させる滑り方で、軽いジャンピングターンをお得意としました。奥様にご参加いただくことも度々でした。

先生の業績を一言で言うと、建築基準法に基づいた審査制度の運用方法の確立でした。最も先生がご尽力なされたのは、建築鉄骨溶接構造の性能評価、いわゆる鉄工場の大員認定でした。また、建築センターでは、

プレファブ住宅の型式適合認定や特殊な構造方法を用いた建物の性能評価などに従事しています。先生はこれらの経験から、鉄骨構造の授業では、設計、生産、施工の実態に即した授業を展開しています。

若いころの先生は、鋼 - コンクリートの合成構造あるいは境界構造の研究者でした。合成桁、根巻き柱脚などについて多くの実験をしています。学究としての後半では、冷間成形角形鋼管の変形性能などに関する成果を収めています。一つ一つをここでは触れませんが、その他にも多くの分野で成果を収めました。卒業生の修士論文や卒業研究の成果でもありました。

先生は、大学では工学部長を、建築学会では学術理事を務めました。

OB会は2～3年に一度開かれてきました。多くの卒業生が参加して、両先生との懇親、同窓との再会を楽しみました。両先生の最終講義と記念パーティもOB会の主催でした。幹事さんたちの多大な努力が、毎回毎回を豊かで楽しい会としました。

よく大学は、卒業してからが大学だといわれます。1期生が卒業して前半世紀が経ちます。卒業生の皆様がこの伝統を活かし活躍なされることを期待し祈ります。

2001年までのOB会においていくばくかの残金が発生し、次回に備えてわたくしがお預かりしておりました。その後の会で、活用をお願いしましたが、どの回の幹事さんも遠慮をなされて、残金がそのままとなりました。2017年のOB会に出席し、その使途の一任をいただいておりますので、今回両先生の以前からの御意向に沿い、お好きだった若い学生のために築理会に委ねて「築理会賞・りぼん支援」にお役立ていただくことといたしました。この紙面をもって、皆様に報告させていただきます。

平野研で学んだ鉄骨構造学

木村 麗 1999年卒



写真 鉄骨構造の授業で使用した教科書¹⁾

勤務し始めたころは、防耐火分野の性能評価業務に

写真の教科書をご覧になり、平野先生の授業を思い出し、懐かしく思われる方も多くいらっしゃるかと思います。

私は、4年生の時に平野研究室で学び、修士では寺本研究室に籍を置き平野研究室に席を置き、鉄骨構造の変遷をテーマに、お世話になりました。卒業後は、建材試験センターに勤務しています。

携わり、鉄骨構造の柱梁部材の高温時における座屈耐力に対する構造安全性を検討したりしました。鉄骨構造の防耐火性には、被覆材の性能も大きく影響します。被覆材などの建材には、かつて、石綿を含むものもありました。昨今は、石綿による健康障害を防ぐための対策が強化されています。建築物の解体や改修の際には、事前に全ての建材について石綿の有無を調べるため、この事前調査にも役立つような石綿含有建材のデータベース構築に関わる業務に現在は携わっています。

建築学会活動も継続しています。期限付き建築物の小委員会では長く活動し、指針の作成にも携わってきました。期限付き建築物とは、仮設建築物と恒久建築物の間にある仕切りを取り払い、両者を統一する設計思想上の概念で、一定の使用期間及び使用条件を設定して使用する建築物です。鉄骨構造の特徴を大いに活かせる建築物です。今秋、指針の改定版の刊行を予定しています。講習会も開催しますので、関心を持たれましたら是非、ご参加ください。

余暇活動では、卒研時に経験した、明治期に日本で鋳造された柱を用いた工場や、JIS制定前の試作H型钢を用いた建物の視察などから、我が国の鉄骨構造の最初のものや、材料はどのような地で製造されてきたかななどにも関心を持ち、各地を訪ね歩いています。建材試験センターの機関誌などにも紹介してきました。

教科書には、鋼材という材料の特性と組立構法という構法の特性から生ずる鉄骨構造の特徴や、鉄骨構造の歴史も示されています。自身の活動を振り返ってみると、教科書や平野研で学んできたことを素地に、取り組んできていることを痛感しました。

平野研で学ぶことができ良かったと思っています。

- 1) 平野道勝・阿部宏正・藤盛紀明著：大学課程 鉄骨構造学、オーム社、平成8年8月20日、第1版15刷（第1版1刷は昭和53年8月25日）

御礼に代えて

築理会会長 佐野 吉彦

今般は、二見・平野研究室OB会で集められたご浄財200,800円を、築理会のために寄贈いただきましたことに、篤く感謝申し上げます。大切にお預かり申し上げます。

両先生ならびOB会の皆様のご意向に沿って、築理会賞・りぼん支援など、現役の学生を支援する目的で活用いたしたく存じます。

あらためて、二見・平野研究室OB会の皆様に感謝いたし、この築理会報を通じて、築理会員の皆様に報告する次第でございます。

理科大学工学部建築学科の今

飯盛冨紀 修士1年 熊谷研究室

葛飾キャンパスでの日常

工学部建築学科は2013年から神楽坂キャンパスから葛飾区金町に新設した葛飾キャンパスに移動しました。それにより各研究室には広々とした個室が設けられたほか、廊下には研究生以外でも利用できるフリースペースやプレゼンテーションルームも設けられ、広々とした環境で作業ができるようになりました。また、葛飾キャンパスは図書館施設が非常に充実しており、多くの学生が普段の学習や打ち合わせなどに使用しています。



▲フリースペース



▲プレゼンテーションルーム

コロナでの変化

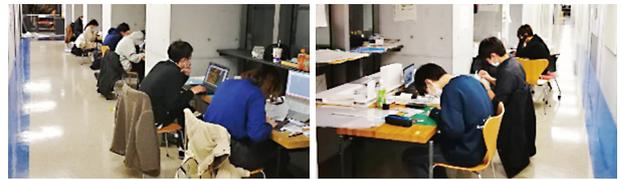
2019年から続くコロナ禍を受けて理科大での大学生生活は大きく変化しました。多くの講義はオンライン型になり、中にはオンライン上でも同時には集まらずに教授が録画した講義内容を視聴して行う非同期型の講義も現れ始めました。建築学科でもその影響を受け、特に設計演習の内容はかなりの変動がありました。学生は基本的に大学には登校しない方針を取っていたため模型の作成は課題から除外され、以前はプレゼンテーションボードを用いていた発表はオンラインになったことで出力はせずにデータのままでの提出が要求されるようになりました。今までは提出間近になると建築学生で溢れかえっていた研究棟の廊下も一時期は賑わいを一切失い、閑散とした様子が広がっていました。しかしコロナが収まりつつある今では、少しずつ対面での講義も増え始め、研究棟の廊下で作業する学生も現れ始めています。

建築学科で学ぶ、課題やテーマ

工学部建築学科では、第一学年で製図の基礎を学び、第二学年から設計課題に取り組みます。課題の出題と設計についての講義、学生—教員間の対話とエスキス、作品の発表と講評といった、これまで当たり前のように対面で行われてきた事がオンラインで行われるようになった2020年度の設計課題。

製図室の扉の隙間から覗くことができなくなった作品には、どのような変化があったのでしょうか。

『りぼん』最新vol.16は、学部と修士過程の作品に加え、2020年度から始まった「工学部建築学科夜間主社会人コース」での作品も、新たに掲載しており、全64作品の記録となっています。



▲廊下で作業する学生の様子

りぼんの歴史

『りぼん』は、東京理科大学工学部建築学科において毎年行われている作品と活動の記録として、編集・発行されている作品集です。今年で16年目となり、2020年度の作品と活動が掲載されています。

毎年、卒業設計を終えたばかりの修士1年の学生有志によって編集委員会が組織され、『りぼん』の構成と装丁について議論を交わします。創刊当初から中核を成してきた「卒業設計」の章を中心に、学科の記録として記すべき事物を吟味することで、常に『りぼん』は新しくあり続けています。

いま最も新しい『りぼん』と東京理科大学工学部建築学科の姿を、ぜひ最後までご覧ください。



▲今年のりぼん制作委員会メンバー 筆者後列左から3番目

鋼骨トップ・プレートジョイント工法 エクス・ティー・ピー

特許取得 第5702410号
NETIS番号:KT-160127-A
ECS-TP工法(柱と柱の結合工法)
東京都建設局 新技術登録 1801006

ECS-TP

(Top Plate)

鉄骨構造物に革命を。
杭と柱の一体化。

株式会社 三誠
SANSEI INC.

Tel: 03-3511-0211 Fax: 03-3551-0217 Mail: info@sansei-inc.co.jp
〒104-0033 東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル9F

北海道営業所 / 東北営業所 / 新潟営業所 / 北陸出張所 / 北関東営業所 / 千葉出張所 / 神奈川出張所 / 関西営業所 / 中四国営業所 / 九州営業所 / 沖縄営業所

SANSEI Holdings, Inc.

エア—断震住宅

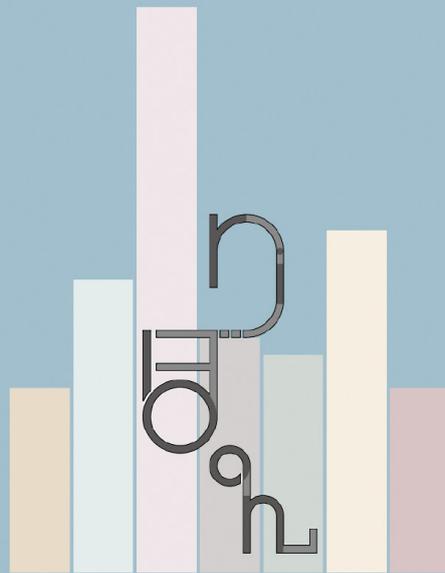
株式会社 三誠 AIR断震システム
http://www.airdانشin.jp/

究極の地震対策住宅 国土交通大臣認定取得 国住指第 2036号

①通常時
地震センサーが常にゆれを監視しています。

②地震発生時
地震センサーが一定以上の地震波を検出すると即時にエア—タンクから空気が送り込まれ壁を浮かし、揺れを断ちます。

大地震が来ても大丈夫
震度7の揺れを1/30に軽減。『エア—断震住宅』なら、毎日安心して暮らせます。



RIBON 2021 vol.16

Tokyo University of Science
Architectural Works and Activities
Now on Sale

- 
 Vol.1
りぼん 2006
在庫なし
- 
 Vol.6
りぼん 2011
在庫なし
- 
 Vol.11
りぼん 2016
在庫あり

- 
 Vol.2
りぼん 2007
在庫なし
- 
 Vol.7
りぼん 2012
在庫わずか
- 
 Vol.12
りぼん 2017
在庫わずか

- 
 Vol.3
りぼん 2008
在庫なし
- 
 Vol.8
りぼん 2013
在庫なし
- 
 Vol.13
りぼん 2018
在庫あり

- 
 Vol.4
りぼん 2009
在庫なし
- 
 Vol.9
りぼん 2014
在庫わずか
- 
 Vol.14
りぼん 2019
在庫あり

- 
 Vol.5
りぼん 2010
在庫なし
- 
 Vol.10
りぼん 2015
在庫わずか
- 
 Vol.15
りぼん 2020
在庫あり

| 販売価格 | 一般1000円 / 学生500円
| 販売場所 | 郷田研究室
| E-mail | rikadai2021ribon@gmail.com

各種 SNS



Facebook



Twitter



Instagram

オンライン販売



kindle
(電子版)



BASE

同窓生の「今」を考える *[diversity]*

今回は「diversity」をテーマとして、建設業界の枠を超えて様々な活動・活躍している方々を中心に同窓生の近況、取り組まれているお仕事や活動についてご執筆いただきました。

Profile

- ① 出身地
- ② 好きな建物
- ③ 今まで仕事で行ってきたこと
- ④ 今後取り組みたいこと

今という瞬間こそ、最高のものとする



秋山 総一郎
2004年卒
安岡研究室
秋山通送(株)

profile

- ① 和歌山県
- ② 和歌山県立近代美術館
- ③ 地図に載ること、世界の人々をつなげること
- ④ 笑顔の輪をひろげ、世界平和に貢献すること

人より勉強はできる方だと思いながら指定校推薦で入学させてもらった東京理科大学は、受験勉強をしなかった田舎生まれの田舎育ちにとってはモンスターの集まりでした。初めて感じた劣等感であり、敗北感でした。建築士になる夢を早々と諦め、2年生になる頃には早く社会に出て日本の経済を動かしたいと思うようになっていました。恩師や先輩、同級生のおかげで留年せずに何とか学部を卒業することができ、マンション建設大手に入社し不動産営業を担当する中で、ここでも先輩上司にも恵まれ、仕事の面白さと社会人としての基礎を学ばせていただきました。

しかし、人生の「三つの坂」である「まさか」を体験することになった私は、父母がやっていた家業を引き継ぐために、2008年に地元和歌山に帰ってきました。社名の通送が表すとおり、郵便輸送がメインの運送会社で、今年度で90周年を迎えます。その歴史に最大の重圧を感じながら、大学時代に培った行動力とサラリーマン時代に学んだ繊細さで、先代から続く太くて厚い信頼関係に感謝しつつ、今日も世界の皆様の“笑顔”をお届けさせていただいております。

昨今はニューノーマルな時代で、今までの価値観ややり方では通用しないと叫ばれ、AI、IOT、ロボット、自動運転、仮想空間メタバースなどの次の時代に突入しておりますが、行きつく先は人間が人間でなくなるのではと危惧しております。どの時代でも人としての想いや気持ち、人のぬくもりは忘れたくないものです。弊社は、「人の手から人の手へ繋いでいく」業種であり、

まさにそれをミッションとしています。グローバル化や改革、規制緩和といった言葉は聞こえも良く、格好良いかもしれませんが、それを追い求めた結果が現状です。価値観が多様化する世の中、それをどう評価するのは人それぞれでしょう。しかし、グローバルな世界のつながりの前に、身近な家族や友達、仲間、地域との身近なつながりを今一度立ち止まって振り返ってみる良い機会かもしれません。

目の前の情報や起きている事の何が真実かは分かりませんが、少なくとも今言えることは、私たちがお届けする「モノ」は紛れもない皆様の“まごころ”、そして“笑顔”です。我々としてはそれを安全・安心・確実・迅速にお届けし、世界の人々をつなげることによって、結果として世界に笑顔の和がひろがっていく。そう信じて、今日も明るく、元気に、素直のまま、今を全力で生きたいと思えます。

鉄道会社での24年間の取り組みについて



橋本 高典
1996年卒
倉淵研究室
JR九州ホテルズ(株)

profile

- ① 長崎県平戸市
- ② 福岡市赤煉瓦文化館(辰野金吾設計)
- ③ 本文をご覧ください
- ④ ホテル建築を極めたい

築理会報を御覧の皆様、九州から記事を書かせて頂きます。私は長崎県平戸市の生月という島出身で、漁協前でラジオ体操後、魚釣りを朝の味噌汁で食べていた幼少期を過ごしました。そんな田舎者が神楽坂キャンパスにて修士課程まで倉淵先生にお世話になり、修了後地元九州企業のJR九州にご縁を頂きました。入社後は鉄道建築セクションに在籍し、古い駅舎の建替に伴う自治体協議・設計施工監理等を行いました。照明は電気部管轄、駅看板は営業部管轄と縦割り組織に歯がゆい思いをした記憶があります。

その後、鉄道事業から事業開発のマンション事業へ異動しました。鉄道が伸び悩む中、鉄道外事業に積極的に取り組んでおり、マンション事業はJR7社で最も積極展開していました。鉄道建築と違い競争相手が存在し、土地取得から販売用パースの作成、お客様と打合せ、近隣対応等土日なく仕事をしてました。

前述の通り、当社では鉄道外収入を伸ばす為、様々な新規事業に取り組んでおり、多くの失敗もしてきました。いよいよ私にも建築とは全く関係のない民間児童保育KidsJRの立上げに携わる機会がきました。先行事例の東急電鉄に勉強させていただき、新部署設立後

半年で店舗をオープンさせました。唯一建築の知識が役に立ったのは、店舗計画の部分についてのみでした。店舗開業後1年で私は戸建事業へ異動となるわけですが、3年後2店舗まで開業にこぎつけたKidsJRは利用者低迷により閉店する事になったのです。

学童保育後、戸建住宅事業に異動していたのですが、配属2週間後熊本地震が発生しました。JR九州の大型造成宅地に約150戸の戸建てを過去に建てていたのですが、建物には大きい被害は出なかったものの、外構の石積門扉がずれたり倒壊したりといった被害が多数あり、現地対応を1年以上行っていました。

3年後、次はホテル事業です。JR本社とホテル運営会社間に中間持株会社が設立され設立メンバーとして異動したのですが、1年後コロナに突入し丸2年で会社は清算、私はホテル運営会社のJR九州ホテルズへ出向替となり今に至ります。この会社では既存ホテルの維持管理や運営に関わる諸々の対応を行っております。また、今夏開業予定で京都にて新ホテルの工事関係に携わっています。ご承知の通り、今なお新型コロナの影響は大きく厳しい状況が続きますが、来るべきアフターコロナに向けた準備を進めています。皆さんも機会がありましたら、是非当社ホテルをご利用してみてください。その際、私に声をかけて頂ければもしかしたらいい事あるかもしれませんよ（笑）

管理をしてきました。その間、上司や先輩に恵まれて今から10年前に、作業所長として、関西大学の担当を拝命し、故森本靖一郎元理事長と出会うことができました。森本先生は理事長職を務めながらスケート連盟の会長やパソナの役員等、様々な要職を歴任されましたが、「僕はどこまでいっても関西大学の森本靖一郎や」とその母校愛は凄いものでした。先生の理事長時代には、教育後援会、千寿会といった父兄の会を組織され、「子供の母校は我が母校」「子供は卒業しても親は卒業させません」といったキャッチフレーズで、たくさんの人々の心を掴み、関西大学を愛する人の輪を大きく育て上げられました。その先生に出会えたことで、私は、自身の理科大への想いがとても小さかったことを深く反省しました。早速、竹中工務店の関西在住メンバーの会を発足し、豊増専務の力添えを頂きながら、集まる会「名称：Rの会」の幹事を担当しました。

当社は新入社員全員が大阪で研修期間の1年を過ごします。この会では5月に理科大出身新社員歓迎会、3月に送り出す会を企画し、翌年度正社員として全国に散らばる若者達とOB/OGの懇親会を実施しております。（コロナ自粛で、去年は集まれておりませんが。）新社員の数は年によって上下しますが、4～5人から多い年は10人を超えることもあります。これは、工学部、理工学部の両方に建築学科が存在する学校の強みです。先輩後輩が多いことはとても心強いです。

更に社外の集まりの会「東京理科大学：関西建築・土木のつどい」にも参加しております。こちらは、関西在住の広く建築・土木に関係する理科大出身者の集まりで、(株)安井建築設計事務所の佐野社長他が発起人の会で、昨年12月1日に第9回目の会合を毎年開催しています。メンバーは1966年で卒業の大先輩から、2014年卒業の若手までが楽しく近況報告やら趣味の話に花を咲かせます。また、ゴルフコンペも毎年2回開催して、スコアよりも楽しむことに力を入れています。つどい会も年々メンバーが増えるように紹介制度を採用し、現在69名に上ります。今後も新たな出会いを求めて、人生を楽しみたいと思います。

出会い～人生の岐路



川嶋 宏和
1990年卒
鈴木研究室
(株)竹中工務店

profile

- ① 三重県津市
- ② ザハ：幻の新国立競技場
- ③ 作業所長、趣味：ゴルフ、ソフトボール
- ④ 投資

私は1990年に学部卒で竹中工務店に就職しました。三重県出身であり竹中が関西地盤の会社という理由で東京への未練を断ち、大阪の現場一筋30年ずっと施工

2021年度東京理科大学工学部建築学科 卒業制作講評会・築理会賞審査会



2022年2月12日(土)、葛飾校舎とZoomにより開催されました。

第1部卒業制作優秀作品講評会では、卒業制作優秀プレゼンテーションと講評の様子
作品について学生よりプレゼンテーションがあり、講師による講評がありました。

第2部築理会賞審査会では、優秀作品より4点に絞りOB審査員による公開審査が行われ、築理会賞は「あな

たが世界にいたということ」橋口真緒さんの作品に決定されました。同時に学科最優秀賞：幸地良篤さん、優秀賞：橋口真緒さん、和泉大雅さん、景岡志唯さん、非常勤講師賞：橋口真緒さんの発表もありました。どの作品も現代的な課題に対する意欲的な提案で、プランニング、デザイン、プレゼンテーションともレベル高いものとなっていました。卒業制作と修士設計の各作品の詳細は、卒業制作・修士設計ウェブサイトをぜひご覧ください。



築理会ホームページリニューアル

築理会ホームページをリニューアルしました。デザインを一新、構成をわかりやすくしました。また築理会の活動や会員の皆様の情報をより一層発信します。



東京理科大学ホームカミングデー

10月31日(日)、恒例のホームカミングデーが、今年はオンラインで開催されました。

関連団体の活動が紹介されるコーナーで、築理会では下記のような「神楽坂まち歩き」ムービーを作成し、他学科の卒業生からも大変好評でした。

最近の神楽坂まち歩き

- 1) 神楽坂ぶらっと散策編
(前半) 飯田橋駅から赤城神社まで、
(後半) 飯田橋駅から九段下まで
- 2) 神楽坂おもいで探し編
学生時代の思い出の店、風景、街
- 3) 神楽坂こだわり編
神楽坂ならではの魅力探索



画像データは理窓会HCDサイトに1年間ほど、掲載されますのでぜひご覧ください。



学生と卒業生交流会イベント

「先輩と語る2021」

建築学科・築理会共催
2021年9月21日(火)、オンライン開催

学生さんたちが建築学科を卒業した先輩たちに、気軽に仕事のことを質問ができて、先輩たちの職場や業界のことをリアルに答える。学生さんと先輩たちがフランクにおしゃべりできてつながれるイベントとして開催しました。



ファシリテーターの安達功さんの進行で、先輩と学生による学校では聞けないリアルな内容をディスカッションしました。

先輩と語る2020、2021、SA forumの詳細は、SA forumのサイトをご覧ください。



築理会新年会



1月22日(土)、築理会新年会が開催されました。築理会20名野田建築会5名が参加、三浦博範さんの進行でホームカミングデーの「神楽坂まち歩き」の写真を見ながら懐かしい神楽坂の学生時代の思い出を語り合いました。

表紙写真紹介

今回から理科大学写真部の在校生にお願いするようになりました。



塩島 健太さん 建築学科3年
写真部2021年度部長
高校：神奈川県立市ヶ尾高校
趣味：風景写真、ギター、水泳、自転車旅
アルバイト：蕎麦屋、塾講師



作品説明：「青青」異なる場所にある若葉、木、空という3つの要素を使い空の青さと新緑の青々しさを表現しました。

表紙の写真は「築理会に関わる人と風景」をテーマに大岩昭之さん(1968年卒 元築理会会長)が長らく担当されていました。大岩さんの作品は築理会ホームページの会報誌アーカイブでご覧いただけます。

会費納入のお願い

築理会は皆さまの会費により活動しています。卒業生、在校生への多様な活動のために、会費の納入をお願いします。築理会やりぼんの活動などに対する寄付も受け付けています。

編集長：近藤 剛啓
編集委員：古池 廣行、野田 正治、飯山 道久、荒井 眞一郎、
浦山 千明、森 清、伊藤 学、高橋 潤子、
阿久津 好太、熊谷 一清、鈴木 敦子、三浦 博範、
栢木 まどか、渡邊 杏奈、山岸 隆、本山 真一朗

編集後記：(浦山 千明)

編集委員の中に3人平野研OBがあり、プチOB会の様でした。今回、平野先生の計報を皆様にきちんとお知らせ出来てよかったと思います。